



石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテストの取り組みについて

川崎市千鳥地区防災協議会

「令和4年度 石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」において、川崎市千鳥地区防災協議会が名誉ある最優秀賞を受賞することができました。

技能コンテスト最優秀賞受賞に当たっては、川崎市消防局をはじめ、協議会加盟各事業所のご支援があってこそその賜物と深く感謝申し上げます。

本稿では、弊協議会共同防災組織ならびにコンテスト出場の取り組みについて、ご紹介させていただきます。

1 弊協議会共同防災組織の概要

川崎市千鳥地区防災協議会は1967年に設立、1979年に消防車両と防災要員を配備した共同防災センターを設置して、石油コンビナート等災害防止法に基づき事業所の災害の発生又は拡大を防止するための「共同防災組織」です。

現在の協議会会員事業所は、川崎市川崎区夜光、塩浜および千鳥町地区に所在する21事業所が加盟しており、年間計画に基づいて、共同防災隊単独の操法訓練および各事業所との合同防災訓練を重ねております。

なお、共同防災センターはENEOS(株)川崎製油所内に設置され、隊員はENEOSサイトセキュリティ(株)に所属していません。

2 技能コンテストの概要

(1) 競技の主眼

本競技は、危険物施設等の火災に対する高所からの泡放水を想定した競技であり、活動・操作の安全性、確実性および迅速性を主眼とし、基本的な活動の体得、チームワークの醸成、士気・規律の向上をもって、自衛防災組織および共同防災組織（以下、自衛防災組織等という。）の防災業務の技能向上を図ることです。

(2) 出場資格

全国の特定事業所に設置されている自衛防災組織等のうち、「大型化学高所放水車および泡原液搬送車」又は「高所放水車（大型化学高所放水車、大型高所放水車又は普通高所放水車をいう。）および化学消防車（大型化学消防車又は甲種普通化学消防車をいう。）」を保有する自衛防災組織等を対象にしており、出場する条件として、管轄する消防本部からの推進が必要となっています。

なお、川崎市の場合は、川崎市区域4組織での輪番制としています。

(3) 使用車両

協議会共同防センターに配備する大型化学高所放水車および泡原液搬送車を使用しました。

(4) 競技実施隊員

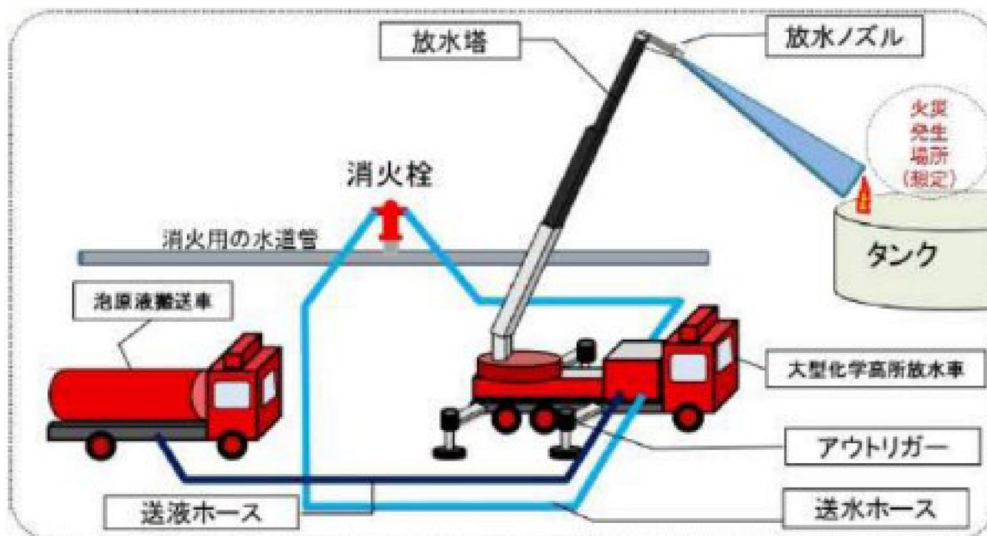
技能コンテストに出場した隊員は7名で以下の構成で実施しました。

大型化学高所放水車小隊・・・中隊長（指揮者）1名、小隊長1名、機関員1名、隊員2名

泡原液搬送車小隊・・・小隊長1名、機関員1名



競技イメージ

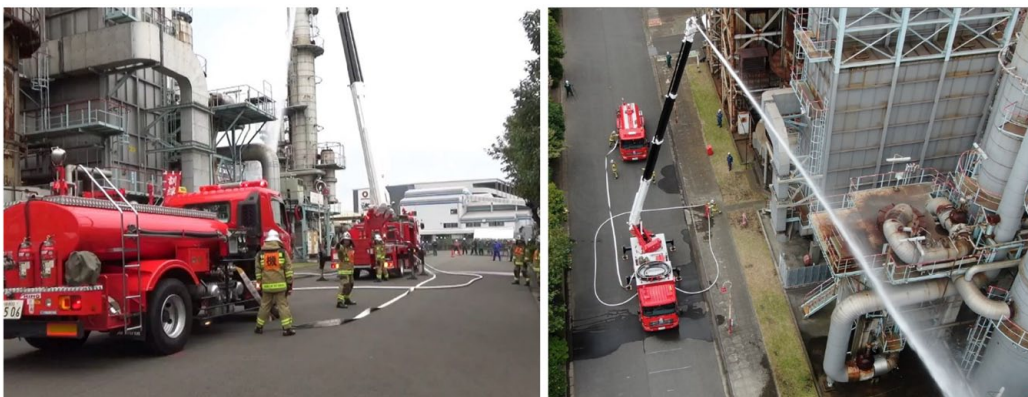


(5) 現地審査

今年度（令和4年）は全国から35組織が出場し、令和4年9～10月にわたり消防庁職員が各事業所に出向いての現地審査とビデオ撮影が実施され、当協議会は令和4年10月25日に審査が行われました。

(6) 最終審査

現地審査およびビデオの競技映像とともに最終審査が行われ、当協議会は各活動において減点ゼロと評価されるとともに迅速性においても最速の結果となりました。



コンテスト現地審査



コンテスト出場隊員



コンテスト関係者

(7) 総務大臣賞表彰式

令和4年12月9日（金）に、中央合同庁舎第二号館（総務省）において、総務大臣賞表彰式が開催され、総務大臣賞を受賞した優秀賞4組織とともに参加し、前田消防庁長官より表彰状と楯をいただきました。



総務省での表彰式



協議会関係者

3 現地審査までの経緯

(1) 前回出場の実績

前回（平成30年度）出場時に優秀賞を受賞した経験に基づき、目指すものは何か、さらに上を目指すには何をしなければならぬのかを明確にして訓練をスタートしました。

(2) 出場メンバーの選定

今回は最初に立候補による参加を募り2名の勇士を選抜し、残る5名はベテランと若手のベストミックスし出場メンバーを選定しました。（選定時の平均年齢39.4才）

また、訓練において出場隊員7名全員が参加できないケースを予め想定し、バックアップ隊員2名も選出していました。

(3) 実動訓練前の準備

競技要領の習得とこれまでの上位組織のビデオ視聴を繰り返し、上位を目指すポイントは何かを関係者全員で共有しました。

(4) コンテストに向けて

実動訓練においては、毎回ビデオ撮影し、終了後にチェック、8月以降は川崎市消防局員からの熱いご指導もいただきながら、ひとつひとつの動作についてディスカッションを重ね、各自が必要な動作を理解した上で実技に反映することを繰り返し、本番ではその成果が発揮され、練習以上のパフォーマンスを出すことができました。

4 今後に向けて

本技能コンテストの趣旨である自衛防災組織等の基本的な活動の体得、チームワークの醸成、士気・規律の向上による石油コンビナート地域の防災力強化を念頭に、日頃から行っている会員事業所での消火操法訓練や合同防災訓練を継続的に実施していきたいと考えております。

終わりに、今回のコンテスト出場に当たって、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



川崎市消防局への受賞報告時の記念撮影